

平成 26 年度の事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 秋田移住定住総合支援センター

1. 事業の成果

○平成 26 年度移住決定者 7 世帯 20 人。新規登録者 153 件。相談件数 175 件。

○OAKITA♥婚ツアーの開催（カップル成立 21 組、うち 1 組移住決定）

○秋田県被災者支援室との協働体制構築（被災者向け移住定住相談実施）

○秋田暮らし体験ツアーの実施（6 市 1 町、16 世帯 25 人参加）

○新版パンフレット（5,000 部）公式ホームページ改修（秋田県移住・定住ポータルサイト秋田暮らし「はじめの一步」）

○ふるさと帰郷フェア 2014 東京会場・秋田県移住定住暮らし相談交流会・秋田県移住者交流会等

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施予定日時 (B)当該事業の 実施予定場所 (C)従事者の 予定人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
① 移住希望者の移住促進支援事業	・移住希望者の要望と実態の把握、これに関連する調査・分析・ヒアリング・同行。 ・移住希望者のコンシェルジュメニューの構築、協賛会員・団体との協業。	(A) 通年 (B) 秋田県内全域 (C) 7 人	(D) 移住希望者とその家族および関係者 (E) 150 人	2,400
② 既移住者への定住支援事業	・既移住者向けのコンシェルジュメニューの構築、協賛会員・団体との協業。 ・既移住者コミュニティの構築と運営。	(A) 通年 (B) 秋田県内全域 (C) 7 人	(D) 既希望者とその家族および関係者 (E) 100 人	2,400
③ 関連する研究・情報交換	・移住定住ビジネスモデル構築に関連する研究・試行・情報交換。 ・移住定住促進事業の運営ノウハウの蓄積・分析・活用。	(A) 通年 (B) 法人事務所（秋田市） (C) 3 人	(D) 既希望者とその家族および関係者 (E) 300 人	1,400

④ 関連する調査代行事業	・移住希望者の移住予定地の各種調査の代行と報告。	(A) 通年 (B) 秋田県内全域 (C) 4人	(D) 移住希望者とその家族および関係者 (E) 150人	1,000
⑤ 地域情報ネットワーク・データベース構築事業	・県内自治体・県内外移住促進関連団体との連携・情報交換。 ・空き家・地域情報のデータベース構築。 ・移住者・既移住者とのコミュニケーションネットワーク構築。 ・協賛会員・団体との情報ネットワーク構築。 ・上記のデータベース構築・運用。	(A) 通年 (B) 法人事務所(秋田市) (C) 5人	(D) 移住希望者と既移住者のその家族および関係者 (E) 150人	900
⑥ 移住定住事業促進活動広報事業	・パンフレット・チラシ・ウェブサイト・ソーシャルネットワーク等広報情報媒体の制作と運用・発信。 ・県外移住関連団体との連携。	(A) 通年 (B) 法人事務所(秋田市) (C) 5人	(D) 移住希望者と既移住者のその家族および関係者 (E) 1500人	2,900
⑦ 協賛会員関連団体との移住定住支援共同構築事業	・協賛企業団体の新規募入活動と協業メニューの構築。 ・移住定住支援ビジネスパッケージモデルの共同開発。	(A) 通年 (B) 法人事務所(秋田市) (C) 3人	(D) 移住希望者と既移住者のその家族および関係者 (E) 250人	1,000
⑧ 移住定住関連イベント事業	・県外における移住定住促進の情報発信・関連イベント(フォーラム・セミナー)の開催・参加。 ・異業種交流型コラボレーションモデル事業の開発。 ・秋田暮らし体験ツアーの実施 ・AKITA♥婚ツアー2014の開催	(A) 1月・3月・7月・9月・11月・12月 (年6回以上の開催・参加)他随時 (B) 3大都市圏(首都圏・阪神・名古屋)・仙台市および政令指定都市。 (C) 7人	(D) 移住希望者とその家族および関係者 (E) 300人	2,900

平成26年度 活動計算書
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 秋田移住定住総合支援センター
(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	525,000		
入会金	0		
受取会費計		525,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	44,803		
施設等受入評価益	0		
受取寄付金計		44,803	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0		
受取公的助成金	23,617,774		
受取助成金計		23,617,774	
4. 事業収益			
移住定住促進パッケージビジネス事業収益	0		
事業収益計		0	
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収益	55,538		
その他収益計		55,538	
経常収益計			24,243,115
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	14,193,613		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	14,193,613		
(2) その他経費			
会議費	35,790		
旅費交通費	2,007,014		
施設等評価費用	234,961		
減価償却費	0		
広告費	0		
雑費	7,432,259		
支払利息	0		
その他経費計	9,710,024		
事業費計		23,903,637	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	73,220		
旅費交通費	22,602		
減価償却費	0		
雑費	409,076		
その他経費計	504,898		
管理費計		504,898	
経常費用計			24,408,535
当期経常増減額			-165,420
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0		
固定資産売却益合計	0	0	0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
経常外費用計	0		
経常外収益計	0	0	0
当期正味財産増減額			-165,420
設立時正味財産額	0	0	0
次期繰越正味財産額			308,076

※当該年度はその他の事業の実施を予定していません。

平成26年度 財産目録

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 秋田移住定住総合支援センター

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
現金預金	971,552		
未収金			
未収金(清算金)	310,362		
前払費用			
前払費用(労働保険料)	21,439		
流動資産合計		1,203,353	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
パソコン×4	評価せず		
机×4	評価せず		
イス×7	評価せず		
キャビネット・書棚	評価せず		
コピー複合機	評価せず		
資料	評価せず		
電話機	評価せず		
ネットワーク接続機器	評価せず		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
事務作業ソフト	評価せず		
デザイン作業ソフト	評価せず		
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
その他資産	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,203,353
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
経費社会保険料等	97,379		
返納金			
受託事業返納金	738,774		
預り金			
職員社会保険料預かり金	59,124		
仮受金			
退職者社会保険料	0		
短期借入金			
理事長	0		
副理事長	0		
流動負債合計		895,277	
2 固定負債			
長期借入金	0		
その他固定負債	0		
固定負債合計	0	0	
負債合計		0	895,277
正味財産			308,076

平成26年度 貸借対照表

平成27年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 秋田移住定住総合支援センター

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	971,552		
未収金（清算金）	210,362		
前払費用（労働保険料）	21,439		
流動資産合計		1,203,353	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	0		
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,203,353
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金（経費社会保険料等）	97,379		
返納金（受託事業返納金）	738,774		
預かり金（職員社会保険料等）	59,124		
仮受金（退職者社会保険料）	0		
短期借入金（理事長）	0		
短期借入金（副理事長）	0		
流動負債合計		895,277	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給付引当金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			895,277
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	473,496		
当期正味財産増減額	-165,420	-165,420	
正味財産合計			308,076
負債及び正味財産合計			1,203,353

含む)を受け入れた場合は、「Ⅲ 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部

1 流動資産

.....

II 負債の部

.....

Ⅲ 正味財産の部

1 指定正味財産

指定正味財産合計

2 一般正味財産

一般正味財産合計